

太刀 銘 国吉

この刀は 13 世紀のもので、京都の名門刀工の家の出身でありながら、鎌倉幕府に雇われて鎌倉に工房を移した国吉という刀工の作品です。この太刀は、国の重要文化財に指定されており、明治天皇（1852-1912）がこの神社に奉納しました。明治天皇は、皇政復古により 700 年近く続いた武士の支配が終わった 6 年後の 1873 年に、鶴岡八幡宮の裏山の大森山から軍事演習を見学するために鎌倉を訪れました。明治天皇は、下山する途中で鶴岡八幡宮に立ち寄り、参拝しました。後に多くの高名な武士が信仰を示すために何世紀にもわたって行ってきたのと同様に、この太刀をこの神社に奉納しました。明治政府は、神道を日本の精神的なよりどころとして奨励しました。